MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西より発信！

No. 217
【発行・編集】
MASUKI情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田2-6-25-113
TEL　090-3710-4815
FAX　06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう・卒業式には「仰げば尊し」を！

私は人権派だ！

再婚相手の子供と共生できるのか？

政経調査会　槇　泰智

2019.09.1

9月17日にさいたま市で9歳男児が殺害された事件で、19日夜32歳の継父が殺人容疑で逮捕された。

教師である44歳の母親がどういう経緯で前夫と離婚し32歳の無職男と再婚したのかは不明であるが9歳の子供にとって幸せな環境でなかったことは事実であろう。

兄は父親に引取られた事で兄弟は離散し「兄は連れて行かれてしまった」と周囲に悲しみを口にしていたという。

本件において継父による虐待は確認されていないようだが、最近各地で発生している乳幼児・児童等に対する虐待や殺人においては母親の再婚相手である継父による犯行が多発している。多くの場合、再婚相手はあくまでも女である母親との結びつきを望むものであり、連れ子は付属品・厄介者と見られてはいまいか。勿論、子供に愛情を持ち我が子同然に愛情を注ぎ可愛がって育てている男もいるだろうが、そのような幸せなケースがどれ程あるのだろうか。子供を産んだ以上は両親が一緒になって成人するまで子育てに従事する義務がある。子供のことを考えれば今流行の「シングルマザー」という存在自体が子供に対する虐待そのものではないのか。

「私は一人で頑張って子育てやってます。お仕事もバリバリやってます」、と周囲にアピールで満足か。シングルマザーの子供に「両親のいる家庭と母親だけの家庭とどっちがいい?」と聞けば答えは決まっている。子供の意志で家庭環境を選べないが、両親は自分たちの都合で片親家庭を選択したのだから、子供こそが最大の被害者ではないか。

離婚するくらいなら子供を作るな。子供を作る以上は子供が成人するまで何が何でも離婚をするな。しかし、現在の自民公明党政権においては、「兎に角、子供をたくさん産んでください」との政策を唱っている。子連れで離婚することが悪いことであるとは捉えていない。そしてシングルマザーには手厚い育児・児童手当まで支給している。

子供の育成環境は問わずに頭数さえ増やせれば良い、というのが現行日本の無責任政策であり、庶民はそれに従い計画性もないまま欲望に奔った結果として子供を産み、飽きたら離婚して福祉の恩恵の下、税金で食い繋ぐこととなっている。死別による片親世帯においてはそれなりの手厚い援助が必要であるが、男女間の勝手な都合による離婚・片親世帯に対する支援は不要である。　離婚した父親が何処かで存命であれば子供が成人するまでの養育義務がある。別れた夫（または母親）が金銭的な負担を負うべきなのである。

男女間の「勝手な都合」と言われても夫婦間にはそれぞれの事情がある、と言われるのは理解できる。夫の暴力・不貞・借金ギャンブル等々。しかしそんなことは2~3年も一緒に暮らせば分かることであり、相手を見極めて信頼に足ると分かってから子供を作ればよい。

シングルマザーそのものが虐待。兄弟離反も虐待だ！

事務局　増木重夫

「子供を産んだ以上は両親が一緒になって成人するまで子育てに従事する義務がある。」子供にとって、これ以上の人権はあるか。

「シングルマザーという存在自体が子供に対する虐待そのもの」全く同感で、「兄弟離反も虐待だ。」と、言いたい。シングルマザーは「自分らしく生きる」と人権を行使しただけのつもりだろうが、そこには子供の人権を無視したという罪悪感、自覚が、いかほどあるのか。

やむ無き事情で離婚したとしても、養育費支払い放棄のやむなき事情など絶対ない。明石市では、「養育費不払いの氏名を公表する条例を検討」などと言っている。まさか氏名公表は無茶だが、何か手を打つべきだ。

私は今まで槇さん同様、離婚禁止法を主張してきたが、今は再婚禁止法を提案したい。子供が20歳まで離婚できない、または再婚できない。

私は真の人権派活動家だ。子供の人権はトコトン主張したい。

百人の会は「教育」を議論する会。もどかしい。

「M情報」は連合艦隊です。その旗艦が「NPO法人百人の会（理事長、辻淳子大阪市会議員）」。２番艦「英霊を被告にして委員会」、３番艦「憲法一条の会」。４番艦「救う会大阪」。５番艦「台湾籍日本人支援の会」これらに頂だいたご意見等をＭ情報の責任で発信。

≪M情報活動報告≫編集指針；政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人達に、「おばちゃん語」で政治を届ける

議会質問・議員・自治体等からの報告

竹島はもう捨てるっていうことも

N国党 立花孝志 デイリースポーツインタヴュー 9/13

【立花孝志動画より文字おこし】

竹島は日本のもの。韓国に対しては強固な態度を取るべき。韓国は平気で約束を無視する。韓国を甘やかしすぎた。財布から小銭を盗んでいった。小銭くらいいいか、と思っていたら万札。万札を抜いている。もう怒らなあかん。

誤解があると困るので、自分の主張を明確にしておきたい。貿易を止めるなり、国交を止めるなり、何か必要。

韓国に行った人が（未確認だが）被害を受けるような状況になっている。貿易を止めても日本はそんなに大きなダメージを受けないと思う。一度きちっと韓国に反省を促すべき。

何年か前に「冬のソナタ」が日本にやってきて大ヒットした。しかし日本の音楽は韓国で聞けなかった。日本の漫画もそうだ。不平等貿易だ。今まではある程度韓国有利に計らってきた。しかしもう危険な形だ。これ以上韓国に譲歩する必要はないと思う。そういう時期に来たのではないか。いきなり断交ではなく、段階的に圧力を加えていかないといけない。圧力をかけ、交渉のテーブルに引っ張り出す。圧力と対話。これが戦争にならない方法。

（どこかで聞いたな。）圧力を加えないとバカには通じない。アホな子は圧力を加えないとどんどん甘える。ええ加減にしろ。としかりつける。安倍政権もそういうことをそろそろ考えているのではないのかな・・・・・。

ホワイト国を外す、踏み込んでますよね。河野さんを防衛大臣。適切な人事ではないですかね。韓国から見ると、今まで話合いの代表者が、戦力のトップになるわけだから、強硬な姿勢を取っている。

丸山議員に関しては、立法で攻めたらいいのであって、感覚で攻めたらいけない。丸山議員は法律は破ってない。何となくダメと言われてる。日本は法治国家だから、彼の発言の違法性を問わないといけない。酔っぱらって不快な思いをさせたことは謝らないといけない。

デイリースポーツ 9/13(金)

「NHKから国民を守る党（N国）」の党首で参議院議員の立花孝志氏（52）が12日、東京・参議院議員会館で本紙の単独取材に対応。日本と韓国がともに領有権を主張している竹島について、日本固有の領土であるという考えを改めて強調した。その上で、日本側は韓国との断交も辞さず対応すべきとの持論も展開。・・・・・立花氏は10日、報道陣に対し「家でも、所有者に家賃も払わず20年間勝手に住んでたら、所有権は住んでる人に移る。70年近く占領されてるのに、今さら『日本の領土』って言ったら、戦争になるでしょ！だから、もう日本の領土じゃないってはっきり言ったら、戦争にならないということを言ってる。そういうことも考えましょうよ」、「一番、国民を平和に導くためには、竹島はもう捨てるっていうことも、国民の皆さんの中で多数決で決めるというのも必要。勝手に日本のものだと言ってるから、韓国も怒ってるんでしょ！？『俺たちが67年間も守り続けている島を、なんで日本が領有権あるって言ってるんだ』と揉めてるんだから、あの島は韓国のものだと決めてしまえば、戦争しなくていいわけでしょ？その問題提起をしてるに過ぎない」と語っていた。

この日は、改めて竹島が日本の領土であるという思いを強調し、「（10日は）僕が『こういう意見があります』と付け加え損ねたかもしれない」と、誤解を招く表現であったと説明。その上で「竹島は、今はすごく、宙ぶらりんな状態になっている。本気で取り返しに行くとなれば、相当、議論をしなければいけないことを知っていただきたい。人が死んでしまいますよ。今この時期だから議論をすべきだと思う」と、問題提起の重要性を説いた。

韓国との接し方については「結論から言うと、日本と韓国は、今の状態だったら国交断絶した方がいいと思ってます。少なくとも貿易を止めるとか」と持論を展開。韓国に対し「あまりにも甘やかしすぎた」とし、「子どもが小銭を盗んでいるうちはまだいい。1万円札を財布から抜いている状態になって、子どもに財布を渡して買い物に行かせることができない状態になっている」と、独特の表現で現状を分析した。

「この50年間で最悪だと思う」という日韓関係に、「貿易をしなくても日本の経済がそこまでダメージ受けるとは思えないので、一度貿易を止めて韓国側に反省を促すべきではないか」と提案。「段階的に圧力を加えていかないといけないでしょう。今は話し合いのテーブルにすらつけないので、まず圧力を掛ける。圧力に対して、仕方なく出てきたときに、100対0で言うことを聞け！というのではなく、『ここは譲るけど、ここは…』という話し合いをしていくのが一番、戦争にという悲劇につながらない手法だとは思う。圧力と対話です。圧力を掛けないとバカには通じないと思います。アホな子は、圧力を掛けてあげないと、どんどん甘えるんです」と厳しい言葉を並べた。

夫婦仲には一旦別居

我が家の話でも、有名人の話でもありません 日韓の話 増木重夫

娘夫婦が喧嘩ばかり。「〇〇が悪い」と言えば言うほど揉めるだけ。親としてどうします。私は一旦娘と孫を引き

取り、旦那とは別居させました。一旦別居し、冷却期間を置く。お互いが必要だと思ったら、また元のさやに戻ればいい。不必要と思うなら正式に離婚。「別居」・・・これがうまくいってない時の常套手段。韓国とは、しばらく貿易をしない。旅行者を制限する(「圧力」と言うより「冷却期間」と言った方が品がいいのでは)。日韓基本条約の破棄まではしなくとも、プチ国交断絶。

竹島も尖閣も、拉致も。根は皆同じ。で、今の日本人に、戦争をしてでも取り戻す気概があるか。それがないくせに、政府が悪いとか社会が悪いとか。人のせいにするのではなく「私達国民が毅然とせねば」と国民全員が思ったとき、日本は変わるのではないでしょうか。韓国や北朝鮮相手に、「歴史はこうだから」等といくら筋を通しても、何も解決しません。戦争をやれとは言っていません。一部の国民がいきり立ってもダメだということです。政府は国民の気概に応じた対応しかできません。国民の気概の熟成。これが最も大事だと思います。おっと、これはフィクション。我が家の娘はまだ独身です。

【兵庫県明石市議会】
令和元年第1回定例会
6月28日　千住啓介

【反対討論】

自民党真誠会の千住でございます。

・・・・・

教育においても、その地方に合った独自性の教育改革をもって教育再生を推進しようとしました。そして、中央教育審議会で議論を行い、政府与党は義務教育制度については、その根幹を維持し、義務教育費国庫負担制度を堅持する、その方針のもと、費用負担について小中学校を通じて国庫負担の割合は3分の1とし、8,500億円程度の削減及び税源移譲を確実に実施すると決着づけられました。すなわち地方の実情に即した教育再生、ひいては優秀な人材育成からの地方創生につなげることが可能になりました。義務教育費国庫負担制度とは、教職員の方々の給料及び報酬を保障する制度であります。このことは、私どもも大切なことであると認識しておりますが、学校現場での解決すべき課題が先生方の給料保障と30人学級だけで解決するものとは到底思えません。

今回、請願者である教職員組合の方に請願文書に記載している学校現場に山積する解決すべき課題は何かと質問をさせていただきました。答えとして、いじめ問題、不登校問題、虐待問題等が挙げられました。果たしてこの問題は先生方の給料保障と、先生の人員確保だけで解決できるのでしょうか。行政サイドの本気の施策が必要であり、より専門性の高い職員の配置と、その機運づくりが必要となってきます。また、新学習指導要領の移行においての時数時間の調整に苦慮しているとも記載されております。であるのであれば、この先生方に任せるのではなく、教育委員会全体で見本を示して対応したほうがよいのではないでしょうか。

また、文書記載のとおり長時間労働の是正に向けて、教職員の働き方改革が進められようとしております。そのような中、経済協力開発機構、OECDが世界各国の教育実態調査を発表しました。その中で、日本の小中学校の教職員の勤務時間が最も長いとされております。この原因は、教育委員会の報告書づくりや部活動が負担になっているとされております。また、小学校においては、勤務時間では授業や採点の時間は他国と同水準だが、事務作業は最も長い値でありました。中学校においても事務作業は平均の2倍以上であります。そして、研修に充てた時間は参加国で最短である結果も出ています。このようなことを鑑みても、教育現場の環境整備は教職員の給料保障や教職員の数というより、別の解決方法が適切であると言えるのではないでしょうか。事務作業が負担であれば、先日の一般質問において公明党の先輩議員が質問されていた統合型校務支援システムを導入するなど、ICTを駆使すればよいのではないでしょうか。また、事務処理能力や、より効率的な教材研究、またはその時間確保ができるような研修を行うことが、より問題解決につながるものと考えます。

となれば、特定財源といった使用目的が決まっている予算より、より自由度が高く、その地域の実情に合った予算配分ができる一般財源のほうが、子どもたちのためになるのではないでしょうか。また、本市においても、こどもを核としたまちづくりを実施し、よき好循環が生まれております。この好循環の1つとして、子どもの医療費補助事業がございます。基本額の2分の1は一般財源化した県補助金で賄っております。また、教育においてもトライやる・ウィーク推進事業や環境体験及び自然学校推進事業も県の補助金を使用しております。もし仮に国庫負担金が2分の1に復元すると、この事業の予算確保が困難になり、事業の縮小にもなりかねません。こういった地域の特性を生かした独自のよき事業を行っている現状の中で、本当に給料を保障する制度となる特定財源として、復元を求める必要があるのでしょうか。賛成を表明されている議員の皆さんにも、しっかり考えていただきたく存じます。

文教厚生常任委員会においても、副委員長の立場としての責任も感じておりますが、明確な賛成意見表明がなかったことは、非常に残念でなりません。何も国はこの3分の1以外の予算は全て地方で賄えとしているものではなく、3分の2は交付金措置されているのです。先生方の給料にその額を絶対に充てるべきかそうでないかの違いであります。今回の請願は、子どもたちの教育環境の改善のためであるとありますが、先生方の権利を守るための政治闘争であるようにも感じられます。先生方の権利を守ることは大切であります。それを何ら否定はいたしませんが、その目的のために子どもの教育環境改善を全面に出す手法は、少し違和感を覚えてなりません。

この請願は私どもの記憶する限り、この同じ時期に10年以上提出してきております。改善されないのであれば、違った方法もあるのではないでしょうか。教育基本法の目的に教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた、心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならないとあります。私ども自民党真誠会は、この目的のために子どもたちの教育環境の改善や、学校現場での先生方の負担軽減及び権利保障は全面的に推進していきますが、より制限されてしまうような施策への後戻り策には賛成しかねます。地方創生が急がれる時代において、地域に合った教育再生を行うことが、私たち地方議員の責任であります。よって、・・反対の意思を表明いたします。

神戸の教員イジメ問題を考える

10/11　元取手市議員小嶋　吉浩

被害届出すのはいいけど、なんで今頃？　世間が騒ぎ出して味方が増えたからか？

それにしても、虐めていた女教師など、4人の教師よりも虐められていた男性教師の不甲斐なさにイラつく！情けない姿のビデオを流出させやがって。そんなヤワな根性で、たくましく生きることを子供たちへ教えられるかい。おまえがしっかりしろ！！

10/12　増木重夫

この事件が起きて、私はすぐに神戸市教委に電話を入れ、4人の名前を聞いた。もちろん言うわけがないし、言うとも思えない。嫌がらせかと言われれば否定できないが、この小学校は公立である。私の子や孫がこの小学校に通う可能性もある。冗談じゃない。名前が言えないなら、今すぐ解雇せよ。生徒や親は、先生を選ぶことができない。それなら教委の責任で教師として適切な、子供達から「わが師」と思われる先生のみを教壇に立たせるべきではないか。いじめられた教員には「お前はバカか。」と言いたい。いじめられるのが快感か。男女平等と言うが、女の先生にもいじめられていたとか。情けない。

10年ほど前、「山口組の親分の子はいじめられない。」と言って、浅田先生を激怒させたことがあるが、少なくともこのいじめられ先生、何とでも戦う方法があったはずだ。腕力で戦えと言っているわけではない。毅然と、シャキッとしたら、と言いたいのだ。こんな弱い奴が教員をしていると思うと、身の毛がよだつ。もし、彼が自分の子供の担任なら、いざという時、わが子を守ってくれるのか。子供を守ってくれる能力のない教員はご免だ。教員ならいざと言うとき、最低でも受け持ち生徒ぐらい守れないと、安心して子供を学校に預けられない。少なくとも、私の娘の婿にだけはしたくない。

昨日ある人に、「いじめた先生、いじめられた先生、自分の子供の担任ならどちらがいい。」って聞いたら、「いじめた先生はイヤ。」と言う。そこで、あなたのお嬢さんの婿にはどちらがいい。と聞いたら、「いじめられた先生は絶対イヤダ。」と言う。そこで意地悪く、「どちらがマシかと聞いているんだ。」と詰めると、答えない。ピンと来ているのだろうが、「いじめた側がまだマシ」とは口にできないのだ。世間は、「被害者が正しい」という空気しかないから。さらに追い打ちをかけ、「自分の嫁や子を守れない人を娘の婿にできるわけがないでしょ。」というと、やっと観念して、「その通りだ。」と言う。そこで、「自分の身内なら弱い人はいやで、他人（クラスの生徒）のことなら、弱い人でもいいの。」と、止めを刺した。

私の深読み過ぎかもしれないが、ひょっとすると、この4人は校長をも含め、学校を牛耳っていたのではないか。要はクラスの乗っ取りだ。根の深くないことを祈るが。なんとか校長、泣いてる場合か。「校長」という既得権に胡坐をかいていたわけではないと思うが、市民感情として、給与の校長分を返せと言いたい。イライラムカムカする。

我々が闘っていかないといけないのは、毅然とすべき時に毅然としない、この『空気』ではないだろうか。

◎今日（10/23）のネットの文春の記事。女の先生がいじめの中心だった原因は、『失恋』。いじめられクンが女の先生に彼女のことを相談。それがショックでイジメ一直線。アホクサ！

日本國の総理は、憲法第一条をどう思うか

10/9　長崎市議　浅田　五郎

「事前検閲につながる」

これは、枝野幸男立憲民主党代表が国会の代表質問でただしたそうです。護憲のリーダーがこれで本当に日本国は大丈夫なのかと思います。

憲法第一条天皇は、日本國の象徴であり日本国民統合の象徴であって、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。とあります。

この不自由展で一番大きく批判を受けているのは、枝野代表が守ろうとしている憲法の第一条が無視され、日本の象徴天皇の肖像を燃やし展示することです。また少女像は従軍慰安婦を表しておるとされているようですが、史実を拡張し日本領事館の前に設置するなど、日韓友好に程遠い状況をあえて不自由展で再開されますが。

日本國の総理を目指すには、今一度これが日本の公的施設を使い国が補助金を出して応援するだけの価値ある芸術展なのか。それを良しとするなら日本國の野党であったにしても野党第一党から次の選挙では国民は見放しするのではと思います。日本國の総理は、日本の国体、皇室を思い憲法第一条をどう思うかです。この不自由展を支えるのなら総理も野党第一党の代表も無理ででしょう。

今日の新聞報道・ニュース等

陸自の給水車支援がムダに「ルールが違う」という神奈川県対応に疑問噴出

10/16(水)　週刊朝日〉

大きな被害をもたらした台風19号で、自衛隊の給水車の支援がムダになる事例があったことがわかった。神奈川県山北町に13日朝、陸上自衛隊の給水車3台が到着していたのに、県の災害派遣要請が間に合わず、支援活動ができないまま引き上げていた。

町は県に派遣要請を求めていたが、県側は「自衛隊に要請する前に、まずは県や日本水道協会に支援を求めるべきだ」などとして、事実上断っていた。県が給水車を送ったが、到着は自衛隊が撤収してから約6時間後。県や町、自衛隊の連絡や調整に手間取ったことで、住民への支援が遅れた格好だ。

県は派遣要請の手順に適切に従ったとの立場だが、柔軟な対応が取れなかったことに町側は反発している。自衛隊への派遣要請を巡っては、これまでも連絡や調整に手間取る例が全国的に報告されており、課題となっていた。県は今回の対応に問題はなかったとしているが、疑問の声が噴出しており、検証を迫られそうだ。

山北町によると、台風による被災が予想されたことから、町のエリアを担当する約20キロ離れた陸上自衛隊駒門駐屯地(静岡県御殿場市)と断続的に情報交換していた。断水が発生した可能性が高いことを伝えると、陸自側は事前の準備を開始。13日午前6時前には出発準備が整ったことや、必要があれば県に災害派遣要請を求めるよう町に伝えた。これを受けて、町は電話やFAXで県に派遣要請を求めた。

ところが、この求めに対し、県の災害対策本部の担当者は「ルールが違う。自衛隊にはほかにどうしようもなくなってから頼むもので、まずは県や日本水道協会に支援を求めるべきだ」などと主張したという。

私(増木)はこれでも一応社長だ。社員もいれば労働基準監督署へ届けた就業規則もある。また、簡単な日常のルールもある。そしてしばしば、就業規則やルールブックを確認しなければならないこともある。いつも言っているのが、「ルール通りでいいのか」「○○の規則を適用して」いいのか、悪いのか、そこを考えるのが、管理職の仕事ではないのか。と。零細企業だから臨機応変が可能と言われればそれまでだが、ルール守るだけなら、バカでも管理職が務まる。

しばしば例に挙げるのが、阪神大震災の時、村山富市は、今の法律で認められていない、と、破壊消化(延焼を食い止めるため、周囲の家を壊す)や駐車している車の強制排除(消防車の通り道を確保するため、駐車している車をダンプカー等の大きな車が体当たりで排除する)を認めなかった。こういうときにこそ超法規的措置があるのではないか。

「オレが全て責任を取る。いけ!」破壊消化や強制排除を行っていれば。6000余人もの死者が出ることはなかったろう。「初めてなので」などと言って、男を上げ損ねた村山富市。「規則」、と「公共の福祉・全体の幸せ」どちらが大事か。先ず、「公共の福祉・「全体の幸せ」だろう。そして後から責任を追及され、弁償とお詫びに走り回ったらいい。誇りを持って謝ったらいい。「公共の福祉・全体の幸せ」を優先しました。と。

私は車を止めるとき、駐禁か否かより、迷惑になるかならないかを優先する。行政者は「公共の福祉・全体の幸せ」を常に頭に置いて置いてほしい。考えていてほしい。ナニ、お前はルールを破り過ぎる。確かに!

マスキ

菅官房長官　笑顔消え「韓国に全て責任」日本から譲歩意見に「毅然と」

9/8(日)　デイリースポーツ

菅義偉官房長官が8日、テレビ朝日「サンデーLIVE!!」に生出演し、悪化する日韓関係について、「なぜこんなにこじれてきたのかということですよ。これはすべて韓国に責任があるということです」と述べた。

さまざまな質問に答えるコーナーで「甘いもの、特にパンケーキが好き」とにこやかに話す場面もあったが、日韓問題に関しては厳しい口調。

徴用工問題に関して「1965年に合意した日韓請求権協定で解決している」とし、「国と国との合意ですから条約。条約というのはそれぞれの国の立法も司法も裁判所もすべての国家機関が順守しないといけないのが基本。そこを踏み外してきているわけです」と韓国側の動きに苦言を呈した。

ほかの出演者が、水面下で話し合うパイプの存在を聞いたが、菅氏は「いろいろありますけど、条約ですから。ここは基本。これ破ったら日本もおかしくなる」と述べた。

また、韓国が強硬姿勢なため、落としどころを探るべきではとの質問もあったが、「日本の立場は毅然として、国民の皆さんが感情的にならないように冷静に、対応すべきは対応し、主張すべきところは主張する」「条約に対して違反している。そこは韓国で考えること」とした。

菅官房長官。ホレボレするね!常に冷静沈着、喜怒哀楽を顔にも出さず。いろいろ相当溜まっているんじゃないかな。それを控えめに、極めて控えめに爆発。

「日本国のゴールキーパー」と称したい。

マスキ

各位。各団体等からの報告。ご意見

世界が裁く「東京裁判（極東国際軍事裁判）」

（元文科大臣秘書官）鳥居徹夫

教科書で教えたい近現代史（その3）

「先の大戦はアメリカが悪く、日本の自衛戦争であった」と昭和26（1951）年5月3日、アメリカ上院軍事・外交合同委員会の公聴会で、マッカーサー自身が、朝鮮戦争後に米上院で証言した。実際、中国大陸で治安の良いところが、満州と汪兆銘政権、そして世界各国の中国内の租界地で、治安の悪いところが延安、重慶であり、まさに天国と地獄であった。それは、日本はアジアの警察官であったからである。その警察官の役割を、日英同盟の破棄を迫るなどの謀略によって、追い落としをはかり成功したのが欧米諸国と蒋介石の国民党、そしてソ連であり中国共産党であった。

日本がアジアの警察官でなくなった大戦後70数年間、アジアは共産中国などによる覇権主義に翻弄されている。実際、アメリカもその対応に苦しんでいる。

◆東京裁判は茶番、死刑判決は執行されたが冤罪であった

「A級戦犯」という言葉がある。靖国神社の公式参拝についても、この意味も知らずに批判する者が多いが、この「A級戦犯」という言葉も東京裁判で作られた。

キーナン検事ら戦勝国の検察側は、日本が昭和3(1928)年1月1日から昭和20（1945）年9月2日までの間、一貫してアジアを侵略して支配下に置くための陰謀を企て、その謀議に沿って満洲事変、シナ事変、大東亜（太平洋）戦争を引き起こしたのだと主張し、これが裁判の最も重要な焦点となった。そして、この「共同謀議」をした犯人として軍人、閣僚など28人を起訴し、これを「A級戦犯」と呼んだ。

ところがこの28人は思想も信条もバラバラで、お互い会ったこともない人までいた。つまり「共同謀議」は成り立たないのである。実際、その間に18回も政権は交代しており、ドイツが延々と続いたヒトラーの独裁政権下で謀議を重ねたのとは全く違う。東条英機内閣ですら、議会の反発を受けて総辞職に追い込まれている。当時の日本は国会が機能しており、あくまで憲法に基づいてリーダーが選ばれていたのであり、「共同謀議」など皆無であった。ところが東京裁判法廷はこんなに明らかな証拠を無視し、被告を強引に「有罪」として7人を絞首刑、16人を終身禁固刑、2人を有期禁固刑に処した。また前後して7人が獄死、刑死者と獄死者の14名が靖国神社に合祀された。

◆東京裁判の判決は執行されたが、冤罪であった

このマッカーサー証言だけではなく、東京裁判(極東国際軍事裁判)の裁判官であったインドのパール判事も、日本無罪論を展開していた。

パール意見書（判決書）は、全7部で構成されている。その概要は、

(1) 裁判官が戦勝国出身者のみで構成されている事の適切性。侵略戦争の責任を個人に求めることは妥当ではない。

(2) 侵略戦争と自衛戦争の区別。日本の戦争を一方的な侵略戦争とは断定できない。

(3) 証拠および手続きに関する規則の検証がされていない。

(4) 訴追事由の一つである「共同謀議」論は否定されている。

(5) 裁判の管轄権の問題がある。真珠湾攻撃以前の案件を扱うことは事後法となり、管轄権を侵害している。

(6) 厳密な意味での戦争犯罪を検証すべきである。この中では、非戦闘員の生命財産の侵害が戦争犯罪となるならば、日本への原子爆弾投下を決定した者こそを裁くべきである。

(7) したがって、全被告人は無罪である。

すなわち「A級戦犯」という概念が虚構であり、デタラメだったとの指摘である。

平和主義とは何なのか、戦勝国の裁判を受け入れることが平和主義なのか。国際社会を普遍的な法の下に秩序づけなければ、戦勝国の復讐やリンチがまかり通る弱肉強食の世界となる。

パール判事こそが、本物の理想主義者、平和主義者であり、「真の国際法秩序」を確立したいと願っていた。

「核の威力に勝利した勝者が、敗者を裁く」という茶番劇にすぎない東京裁判を、あらためて検証することが求められている。　死刑の判決が下り処刑された7人は、「裁判」の名を騙った報復に斃れた戦死者であり、他の戦死者と同様に、靖国神社に祀られるのは当然なのである。にもかかわらず「日本はサンフランシスコ講和条約第11条で裁判を受諾したのだから、東京裁判を尊重する義務がある」との主張すらある。ところが実際の「サンフランシスコ講和条約第11条」の条文は

「Japan accepts the judgements……（日本は諸判決を受け入れる）」

とあるだけで、「裁判」そのものを受け入れたわけではない。死刑の判決は、受諾し執行されたが、冤罪であったことが、後でわかった。

◆「いわゆる戦犯」の名誉は回復されている

数年前まで民主党代表であり内閣総理大臣であった野田佳彦氏は、平成17（2005）年10月17日に「戦犯に対する認識と内閣総理大臣の靖国神社参拝に関する質問主意書」を提出し、次のように指摘した。

野田氏が疑問を投げかけたのは、極東国際軍事裁判で戦争犯罪人の汚名を着せられた「いわゆるA級戦犯」の名誉と、極東国際軍事裁判に関わる認

識である。

(1) 極東国際軍事裁判に言及したサンフランシスコ講和条約第11条ならびに、それに基づく衆参合わせ4回におよぶ国会決議と関係諸国の対応によって、A級・B級・C級すべての「戦犯」の名誉は法的に回復されている。「A級戦犯」と呼ばれた人たちは戦争犯罪人ではない。

(2) 極東国際軍事裁判で「A級戦犯」として裁かれた人々に関して、その人々の法的地位を誤認し、また社会的誤解を放置しているとすれば、それは「A級戦犯」とされた人々の人権侵害であり、内閣総理大臣の靖国神社参拝への合理的な判断を妨げるものとなる。ちなみに国会でも次の決議が、満場一致で採択されている。

・昭和27年6月9日、参議院本会議「戦犯在所者の釈放等に関する決議」、

・昭和27年12月9日、衆議院本会議「戦争犯罪による受刑者の釈放等に関する決議」

・昭和28年8月3日、衆議院本会議「戦争犯罪による受刑者の赦免に関する決議」

・昭和30年7月19日、衆議院本会議「戦争受刑者の即時釈放要請に関する決議」

サンフランシスコ講和条約第11条の手続きに基づいて関係11カ国の同意のもと、「A級戦犯」は昭和31年に、「BC級戦犯」は昭和33年までに赦免され釈放された。刑罰が終了した時点で受刑者の罪は消滅するというのが近代法の理念である。

この東京裁判で、禁固7年の有罪判決を受けた重光葵(開戦時の外相)は、釈放後に再び外務大臣(副総理兼任)になり、昭和31(1956)年、日本の国連加盟式典に代表として出席、国際社会復帰の声明文を読み上げ、万雷の拍手で迎えられた。戦勝国に「A級戦犯」とされた者が、戦勝国が作った「国際連合」の場で大歓迎されたのである。

この「A級戦犯」を副総理兼外務大臣に起用した総理大臣は鳩山一郎。あの「A級戦犯を合祀した靖国神社の首相参拝」に大反対している、鳩山由紀夫の祖父である。死んだ後まで「戦争責任」を問われ、靖国神社から分祀せよと言われた「旧軍人」も、外務大臣として国際舞台に復帰して、握手攻めにあった重光葵も「東京裁判ではA級戦犯」であったのだ。

これこそ「A級戦犯」という概念がデタラメだったと言うことにほかならず、まさに「東京裁判」なるものの本質を如実に表している。死んだ7人は「裁判」の名を騙った報復に斃れた戦死者であり、他の戦死者と同様に、靖国神社に祀られるのは当然である。「A級戦犯」という言葉のイメージも一人歩きしている。

自民党の政治家までが、A級戦犯を靖国神社に祀ってあるから公式参拝反対などと言っている。全くの無知である。

東京裁判は、野蛮な復讐のための見せしめでしかなかった。これこそ弱肉強食の国際社会を肯定する「軍国主義」にほかならない。

世界の識者が見た東京裁判

●ダグラス・マッカーサー　(米・連合軍最高司令官)

日本は、絹産業以外には、国有の産物はほとんど何も無いのです。彼らは綿が無い、羊毛が無い、石油の産出が無い、錫が無い、ゴムが無い。その他実に多くの原料が欠如している。そしてそれら一切のものがアジアの海域には存在していたのです。

もしこれらの原料の供給が断ち切られたら、1000万から1200万の失業者が発生するであろうことを彼らは恐れていました。したがって彼らが戦争に飛び込んでいった動機は、大部分が安全保障の必要に迫られてのことだったのです。(1951年5月3日、米国議会上院の軍事外交合同委員会の答弁にて『東京裁判　日本の弁明』)

●ベルト・ファン・A・レーリング判事(蘭・東京裁判オランダ代表判事)

国際裁判所が、正義に基づいて処罰を求められているにもかかわらず、自ら正義の法理を適用しているか否かを審査する機能や義務さえ与えられないで、単に戦勝国の最高司令官の定めた法規を適用しなければならない。かようなことを本裁判所が認めるとすれば、それは国際法のためにこのうえなく有害なことをしたことになるだろう。

(『勝者の裁き』)

●C・A・ウィロビー将軍　(米・GHQ参謀第二部長)

この裁判は歴史上最悪の偽善だった。こんな裁判が行われたので、自分の息子には軍人になることを禁じるつもりだ。……

〔なぜ東京裁判に不信感を持ったかと言えば〕日本が置かれていた状況と同じ状況に置かれたならば、アメリカも日本と同様戦争に訴えていたに違いないと思うからである。

(東京裁判終結後、離日の挨拶に訪れたレーリング判事に対する言葉・ベルト・ファン・A・レーリング『The Tokyo Trial and Beyond』より)

●ウエッブ　(オーストラリア・極東軍事裁判の裁判長)

私は日本が9000万人の住む小さな土地で耕作出来る面積はそのうち15パーセントにすぎず、外部から激しい貿易制限や規制を受けていたとの弁護士の論述に多くの正論と酌量の余地を認めた。私は米国なり英国なりが同じ様な状況におかれたらどのように反応したか、それどころか国民がどのような反応をすることを望んだかを考えてみた。米国も英国も日本が1941年におかれたような状況におかれれば、戦争に訴えていたかも知れないのである。(『天皇の陰謀』)

●アメリカ：　ベン・ブルース・ブレークニー(東京裁判弁護士)

原子爆弾という、国際法で禁止されている残虐な武器を使用して多数の一般市民を殺した連合国側が、捕虜虐待について、日本の責任を問う資格が

あるのか。

●ハーバート・フーバー(米・元大統領)
もしわれわれが日本人を挑発しなかったならば決して日本人から攻撃を受ける様なことはなかったであろう。
(『東京裁判　日本の弁明』)

●チャールズ・リンドバーグ　(米・飛行家・大佐)
ドイツ人がヨーロッパでユダヤ人になしたと同じようなことを、われわれは太平洋でも日本人に行ってきたのである。……
地球の片側で行われた蛮行はその反対側で行われても、蛮行であることには変わりが無い。
『汝ら人を裁くな、裁かれざらん為なり』。
この戦争はドイツ人や日本人ばかりではない、あらゆる諸国民に恥辱と荒廃とをもたらしたのだ。(『リンドバーグ第二次大戦日記(下)』)

●エドウィン・O・ライシャワー博士(米・元駐日アメリカ大使　ハーバード大学教授)
軍事法廷はかく裁いた。だが歴史はそれとは異なる裁きを下すだろうことは明らかである。(『将軍の裁判　マッカーサーの復讐』日本版裏表紙に寄せた文章より)

●毛　沢東(中・中国共産党主席)
〔昭和39(1964)年、社会党の佐々木更三委員長が、毛沢東主席に「中国国民に多大の損害をもたらして申し訳ない」と挨拶したところ〕
何も申し訳なく思うことはありませんよ、日本軍国主義は中国に大きな利益をもたらしました。中国国民に権利を奪取させてくれたではないですか。皆さん、皇軍の力なしには我々が権利を奪うことは不可能だったでしょう。(「毛沢東思想万歳」(下))

●鄧　小平　(中・中国共産党副主席)
日本は中国を助けたことになっている。……　日本が蒋介石を重慶まで押し下げてくれたので、我我は日本軍の占領地域の後方に広がった。……
皆さんだけを責めるのは不公平だと思う。(「中国との友好交流二十年の感想」三岡健次郎　1995年6月30日　中国政経懇談会)

●K・R・ナラヤナン　(インド・大統領)
パール博士の有名な反対判決は、勝者側の偏狭なナショナリズムと政治的復讐とを退け、それよりも平和そして国家間の和解と親善のために努力すべきことを説いた、感銘深い呼びかけでありました。また、そのように行動されたことにより、インドと日本との友好と理解のシンボルとなったのであります。
(1997年10月16日　京都のパール博士顕彰碑建立の際に寄せたメッセージ)

●プライス　(米・陸軍法務官)
東京裁判は、日本が侵略戦争をやったことを懲罰する裁判だが、無意味に帰すからやめたらよかろう。なぜならそれを訴追する原告アメリカが、明らかに責任がある。ソ連は日ソ中立条約を破って参戦したが、これはスターリンだけの責任でなく、戦後に千島、樺太を譲ることを条件として、日本攻撃を依頼し、これを共同謀議したもので、やはり侵略者である。日本を侵略者呼ばわりして懲罰しても精神的効果はない。(一九四五年十二月のニューヨーク・タイムズ紙にて『東京裁判の正体』)

●カール・ヤスパース　(ドイツ・哲学者)
私はどう考えても、一つの民族だけが、戦争の責罪を負わなければならない義務はないと思う。《自分には罪はない》などというのは、薄っぺらで、ごまかしの道徳意識だ。これこそひとりよがりというものだ。その証拠には、彼らはすでに、次の戦争の準備をし、これを促進しているだけではないか。……
いっそ明白なる暴力の方がましである。その方が正直で我慢しやすい。そこに存在したものは戦勝国の強権ばかりであった。それは人類の将来の平和のために、無益なばかりか、きわめて有害な存在となった。(『戦争の責罪』)

●ジョージ・フリードマン教授　(米・ディッキンソン大学)
まともで教育のある人びとがなぜパールハーバーを攻撃する道を選んだのか。こういうことを理解せずに、ただそれを非難する人びとがいる。彼らこそがもっとも戦争を起こしやすい人びとなのだ。当時の日本の指導者たちをモンスターにしたり、日本の置かれた悲劇的な立場を考えもせずに発言する人びとを英雄視したりしても、何の解決にもならない。解決どころか、このような態度そのものが問題なのだ。(「パールハーバーを忘れるな」『VOICE』1991年12月号)

●社会学者　エ・ミアーズ女史(米)
東京裁判は正義ではなく、明らかなリンチだ。私たちアメリカがどうして日本を罰する事ができるのか?私は理解できない。

自衛隊を国軍にし、核武装すべきだ

2019-10-7　四宮正貴

「国会両院記者会　やまと新聞社」に寄稿

自衛隊を国軍とし、核武装し、自主防衛体制を確立することによって、日本とアジアの平和が保たれる韓国の常軌を逸した反日姿勢反日政策はますますひどくなっているが、日本はどう対処すべきであろうか。
一方、拉致問題は全く解決の兆候が見られない。北朝鮮に対してわが国はいかなる姿勢で臨むべきであろうか。南北朝鮮の「統一」の可能性をしっかりと見極めねばならない。南北朝鮮の統一とは、日本の隣に核武装した反日国家出現ということならなりかねないのである。共産支那の海洋進出・尖閣

諸島への常態化した領海侵犯など我が国などへの軍事的圧迫はますます強まっている。

私は、わが国は核武装すべきだと思う。自主防衛体制の確立とは、核武装である。しかし、わが国は非核三原則などという誤った原則を墨守し、且つ、軍事力を全く否定した似非平和憲法を未だに破棄出来ないでいる国である。日本は、現実に何時共産支那や北朝鮮から核攻撃を受けるかわからない危機に曝されている国である。しかし、わが国国民の核アレルギーは非常に強い。そして戦後七十年以上にわたって誤れる「平和思想」が横溢している。こうした状況の克服は非常に困難である。

しかしトランプが大統領であろうとなかろうと、アメリカが将来にわたってずっと日本を守ってくれるという保障はない。また、他人任せの国防であって良いはずがない。アメリカの核の傘の下にいれば安心というわけには行かなくなりつつある。

六十年前に日本に二発もの原爆を落した國はアメリカある。反米意識を煽るわけではないが、これは歴史的事実である。冷静に国際情勢を眺めた場合、日本が独自の核抑止力を持つのは当然である。わが国が唯一の被爆国だからこそ、二度と再び核攻撃の惨禍を受けることのないように核武装すべきなのである。広島・長崎が核攻撃を受けたのは、日本に核抑止力がなかったからである。

米ソ冷戦期には、米ソがともに核兵器を持っていたから使用されなかったのである。もしも米ソどちらかが相手に核攻撃を行ったら、地球が壊滅する核戦争が勃発した。だから、米ソはお互いに核攻撃ができなかったのである。北朝鮮は核兵器を放棄する意思はない。共産支那はわが国を射程に入れた核兵器を無数に持っているという。日本は大戦略を立てなければならい。共産支那と北朝鮮が核兵器を持ち、日本に狙いを定めているのに、日本が無防備でいるという事は許されない。

地下化された北朝鮮の核・弾道ミサイル基地をわが國が先制攻撃するのは不可能だという。だとすれば、北の核兵器に対する抑止力は核兵器しかない。共産支那のように侵略国家、北朝鮮のような無法国家が核兵器を持っているのに、その標的となっているわが國が核兵器を持ってはならないなどという事は全く道理に反することである。隣に住む強盗が殺傷能力の極めて高い凶器を持った以上、その強盗に狙われている家が何の防衛策も講じないでいるわけにはいかない。やはりわが国も核武装する以外に恒久的に安全を確保する道はない。

「外交とは華麗に礼装した軍事である」という言葉を忘れてはならない。フランスという国を核攻撃する國は存在しないと思われるのに、フランスは早くから核武装している。わが国が核武装してはいけない道理はまったくない。まして、共産支那・北朝鮮という何をするか分からない無法国家が核武装してわが国を狙っているのである。一刻も早く我が国は核武装すべきである。それは独立国家として当然の権利である。このままでは日本は益々北朝鮮と共産支那とロシアに脅かされ続ける国となるであろう。

「『恒久平和主義』は憲法三原理の一つであり『非核三原則』は国是であるから絶対に守るべし」と言う人がいる。しかし、このような「国是」だとか「原理」などというものを守ることによって国が滅び、国民の安全と生存が脅かされるのは真っ平御免である。

自衛隊を国軍とし、核武装し、自主防衛体制を確立することによって、日本とアジアの平和が保たれるのである。また、日本は真の自主独立国家になるのである。

Heavenes 和製ミュージカル
Heaavenes 一座 大阪公演
10-22　事務局　増木重夫

洋楽器と和楽器で『日本精神』を表現

私、増木、生まれてこの方、コンサートや音楽会で（そもそも行かないが）、最後まで会場にいたのは、30年ほど前に行った加山雄三ショーと先日大阪で行われたヘヴニース一座公演のみ。だいたい30分程度が限界。

ヘヴニース、お勧め度☆☆☆☆☆

先日の大阪公演（10/2）を鑑賞させていただいて、彼等が表現したかったものは何か。私のなりの解釈ですが。

「日本」「日本の伝統と文化」。

思いだしながら内容を羅列すると・・・フェイクニュースに騙されるな、自分の目で確認せよ。和を以て貴となす（バックスクリーンに「以和為貴」の大書；実は私の塾に、以前に「以和貴」チャンと言う生徒がいたのです）。キング牧師の人種差別反対（大東亜戦争の起因を連想させる）。武士道（本能寺の変）。大和魂。日本文化（そろばん　ハナ肇のドラム　忍者　花魁どどいつ、和太鼓で「祭り」、多くの偉人、河内音頭には思わず、我辻淳子理事長が腰を浮かせたので思わず抑える）。ドラムと和太鼓のセッション。ドラムは中学校の先生。これらをコント（?）とニュー音楽、和楽器で表現するのです。スミマセン1/10くらいです。最後はバックスクリーンンに「靖国」「富士山」「出撃するゼロ戦」「日の丸」。

終わってから、リーダーの石井氏にあいさつ、のつもりが、1時間ほども話し込んでしまった。彼らがやろうとしていることは私、私らといっしょ。『教育再生』『日本再生』私らは言論を尽くして、私個人はおばちゃん語で。彼らは音楽を通して。教育を変えよう。と。是非行ってください。彼らは朝日TV等には絶対出演できないから。次回公演は

●2019年11月22日
2019 HEAVENESE BRIDGE
@日本橋三井ホール
チケットぴあ Tel:0570-02-9999
（Pコード：157-726）
百人の会推薦！

Heaavenes」ホームページより

HEAVENESE BRIDGE（ヘヴニーズ・ブリッジ）は、マレこと石井希尚が主催する『日本精神』を発信する音楽とトークのイベントです。会場のキックバックカフェには、毎週高校生からビジネスマンまで、世代を超え多くの人々が集い賑わいを見せています。

「人は、自分が信じている通りにしか生きられない。自分を何者だと信じるかで人生は決する。教育の第一義的役割は健全な自尊心を育むことだ」

カウンセラーとして『自尊心理論』を提唱するマレは常にこう語ります。

自尊心とは、文字通り自分を尊ぶ心であり、自分の価値をどう見積もるかによって決まります。言うまでもなく、自分の存在に希有な価値を見出すことが出来る状態こそが健全です。ところが、マレが、カウンセリングという仕事を通し直面したのは、『日本人であること』に誇りと自信を持てないでいる人が驚くほど多いという現実でした。

「日本人は、ただひとえに、日本人であるということの故に『健全な誇り』を持ち得てしかるべきだ。そこに健全な自尊心の土台がある」

この信念に基づき、『誇り高き日本人』を育成することを目的に、HEAVENESE BRIDGEはスタートしました。しかしそれは偏狭な民族主義を煽ることではなく、『和を以て尊しとなす』に代表される『大和心』こそが、イデオロギーや宗教によって分断された世界に融和をもたらす礎となり得る宝であることを再発見する手助けをすることです。そして、悠久の時を超えて受け継がれた精神の気高さを知ることによって、健全な自尊心を奮い立たせることです。

ライブイベントならではのカジュアルな雰囲気の中で語られるテーマは、俗にいわれる『東京裁判史観』からの解放を促すもので、まるで『講談師』のようだと評されるマレのドキュメンタリー歴史トークに人々の魂は振るわされ、「日本人でよかった」あるいは「はじめて日本が好きになった」などの声が多く寄せられています。武士道に感銘をうけた学生から「鬱の投薬治療をやめることができた」という報告もあり、自尊心理論に基づき発せられるメッセージは、日本精神というキーワードの中に結実しはじめています。

HEAVENESE・・・これは、HEAVEN（天国）とJapanese（日本人）を合成した造語です。それは天の道に歩む日本人を意味しています。

HEAVENESE BRIDGEは、高貴なる天の道に歩むものたちが渡る橋となり、日本精神によって世界に光を放つ者たちの足下を照らす、ささやかな灯となることを願い、毎週キックバックカフェで開催されています。

日本は戦争を仕掛けた悪い国？　ちゃうちゃう
10/8 ナニワの激オコおばちゃん

私は何べんも、恥を忍んで（笑）自分は昔はアホやった、今は「覚醒」しました、とここで書いてます。まあ何も失うものもありませんから、他人様からみたらそれでどないしたんや？で済む話なんでしょうが、これが人気のある著名人やったり、政治家やったら、どうでもええ話にはならへんわけですね。あ、何が言いたいかというと、昨日も書きましたけど、いまだに多くの日本のエラい人たちで、自虐史観に洗脳されたままの人がいっぱいおる、ということです。

中でも一番問題なんが、「日本は戦争で悪いことをした」、「迷惑をかけた」とかいうものでしょうか。日本人が反省せなあかんのは、戦争をしたことやなくて、戦争に負けたことですね。こう言うと、おパヨクさんは大騒ぎをしてきますね。おそらくそんな騒ぎに負けて、原爆記念碑の碑文には、「過ちは繰り返しませぬから」みたいなことを書かされる羽目になってしもてるわけですね。

もともと私のお母ちゃんは、実家が商売をしていて、戦争のせいで家が全部焼けてしもたもんやから、当時、年を取ってた親、つまり私のおじいちゃんは、もう商売の再開をあきらめた、と。お母ちゃんが子供の頃は、住み込みのお手伝いさんがおった裕福な家やったんやで、戦争でえらい目に遭うたわ、という認識でした。せやから、なんで戦争なんかしたんや、と私は日本の近現代史には昔から興味を持っていました。

ようやく「覚醒」して、近現代史の勉強で最初にびっくりしたのは、日露戦争についての評価です。これは若狭和朋さんの『日露戦争と世界史に登場した日本』を読んだのが最初でした。そもそも自虐史観やと、日清日露の戦争なんて、日本が「侵略戦争」を始めた忌まわしい、薄汚い戦争、ぐらいの、絶対マイナスのイメージでしたからね。まあおパヨさんたちは今もそうでしょうけれども。

日露戦争は、実は世界史を根底から変えた、ものごっつい大事件やったということを、この本で知りました。まあそれからは一気にいろんなことがわかってしもた、というわけですね。そして、大東亜戦争の時のアメリカ大統領、ルーズベルトは、実は帝国海軍が真珠湾を目指して進んでいることを知っていたわけですね。アメリカ側は何としてでも日本に「奇襲」させる必要があった、ということですね。

もうだいぶ、このことは常識になって来てますが、教科書ではまだ一切、そんなことは書いてませんね。安倍ちゃんが最初に教育に手を付けたのはようわかりますわ。まだまだですけれどね。そもそも教科書にはいまだに南京虐殺やら慰安婦やらを書いてるところがあるというのは、もう許せませんね。敵国のプロパガンダを自国の教科書にわざわざ載せている、アホな国やんか。

話は戻って、ルーズベルトにとっては真珠湾で自国の兵士が何人死のうが別にどうでもよかったわけですね。なるほど。2001年の911も同じですね。これはまだ解明されてはいませんが、恐らくそういうことでしょう。戦争をするためにわざと自国の犠牲

者をつくる、と。もう人間のすることやないな。それほど世界は邪悪や、ということを日本人はしっかり認識せなあきませんね。

昨日、米朝実務者会談があってアメリカ側は、実りある話ができて、2週間後にまた話し合おう、と発表したのに、北朝鮮側は「決裂や！」と発表しました。もう、キツネとタヌキの化かし合いかいな。私ら日本人は、冷静に真実を見分けられるように、しっかり情報収集しましょう。

東京　茂木弘道

その通りです！日本人が反省しなければいけないことは、戦争をしたことではなく、戦争に負けたことです。しかも、あの戦争、勝つ戦略をちゃんと持ってたんですね。それで負けた、というんですから、反省、反省また反省しないといけないと思います。

そのことを本にしましたので、ぜひご覧ください。

『大東亜戦争　日本は「勝利の方程式」を持っていた』（茂木弘道著）（ハート出版）　定価　1500円＋消費税

在日朝鮮人としての金田正一氏

10/8　政経調査会　槇泰智

10月6日に元プロ野球選手の金田正一氏（86歳）が死去した。誰もが知っていることであるが、在日朝鮮人二世として産まれ（韓国籍）成人してから結婚を機に日本国籍を取得した。しかし、金田氏の死去を伝える日本のメディアでは私の知る限りこの件に関しては全く報道されていない。翻って10月7日の中央日報では韓国系の金田正一として大きく取上げている。日本社会で活躍した同胞を祖国の誇りとして宣伝したい面もあるだろう。

本人が出自を公開したくないのに差別感情を以って無理やり公表する事は控えるべきであろうが、金田氏がプロ野球界において数々の大記録を打ち立てた背景にはその出自が無縁ではないだろう。

元朝鮮人（韓国籍）であった事実をメディアが隠蔽する事のほうが、朝鮮民族の血統を卑しいもの穢れたものと認識する差別意識の現われではないのか。

長嶋茂雄氏が立教大学から鳴り物入りで巨人に入団した昭和33年。オープン戦で左腕投手を打ち崩し「開幕戦でも金田投手を打ち崩せるかもしれません」と報道人に語っていた長嶋氏を見て高校すら卒業していない金田氏は「なにをこのガキが」と、思ったに違いない。

開幕の対巨人戦では長嶋のデビュー戦を4連続三振に討ち取ってベテランとしての意地を見せた。いや在日朝鮮人としての意地であったのかもしれない。

当時の時代背景から勘案すれば幼少期より少なからず差別的な扱いや暴言を吹きかけられながらも朝鮮人特有の負けん気の強さと184センチの巨体を以って跳ね返してきたのだろう。あの物怖じせぬ傲慢で歯に衣着せぬ物言いは典型的な在日朝鮮人の所作であり、故に如何に厳しい被差別民族的扱いを受けようとも力で相手をねじ伏せてきた。実力があればどんな日本人であろうとも彼には逆らえないといった状況を構築していったのであろう。

日本社会に根を張る朝鮮人勢力の力強さを象徴するような人物であったと感じられる。日本において日本人として出生した事だけで優越感にしたり朝鮮人に罵声を浴びせて溜飲を下げるだけの歪な市民運動レベルでは到底彼らに太刀打ちなどできようはずもなかろう。

事務局　増木重夫

槇さんのこのメッセージ、涙がでるほど感動しています。特に、最後の一文「日本において日本人として出生した事だけで優越感にしたり朝鮮人に罵声を浴びせて溜飲を下げるだけの歪な市民運動レベルでは到底彼らに太刀打ちなどできようはずもなかろう。」全くその通りで、

「おまえはそんなにエライのか。」

と言いたくなります。竹島を韓国軍が占領しているのも、「戦争も辞さじ」と言う気概が韓国民にあるからです。自衛隊が出動し韓国軍を追っ払えば、簡単に竹島は奪還できるでしょう。しかしその後必ず戦争になります。その時、今の日本人は戦えますか。それどころか、国民の大半は「戦争反対！」だから迂闊に軍事出動はできない。政府・安倍さんが弱腰なのではなく、国民一人一人が弱腰なのです。それもGHQのSSS作戦だったと言ってしまえばそれまでですが。ヒットラーはやったではないか。違います。ドイツは「全権委任法」を可決したのです。国家の全権を国民の総意としてヒットラーに与えたわけです。だから極めて民主的にヒットラーは独裁政治ができたわけです。

口だけ威勢のいい運動はもう卒業しましょう。もちろん今すぐ戦争の準備を。と言っているのではありません。まず家族、そして隣りのおじさん、おばさん。町内の人みんなに・・・・「闘うべきときはあなたも戦う。逃げてはいけない。毅然とすべき時は毅然としましょう。」と話すのです。それが国民の声になった時、拉致、北方領土、尖閣・・・全て解決すると思います。大人の、成熟した運動をしましょう。

蓮坊公爾「熟読玩味」『習近平は日本語で脅す』

高山正之氏の著作はズバリ本音のみ。故に、一気読みしてしまう。『習近平は日本語で脅す』新潮社、もそんな一冊だね！　最終章に「中国好きもいい。でも危ないものは危ないと知らせる」ー其れは新聞の義務だと云うこと。此の危険な国家に、〈建国70年〉を祝う祝電ーまさか安部首相が贈るとは、何を考えて居るのか。そう言えばだ、北朝鮮にも甘く為った。

連合艦隊各艦の予定・活動報告

NPO法人百人の会

●第39（通算106）回定期理事会
・令和元年12月
・サムティフェイム新大阪　4F-E
◎公開勉強会等の予定・・検討中
【理事会】2～3か月毎に開かれ、会の重要案件を議論します。理事会は理事の方はもちろんのこと一般のご出席も大歓迎です。
●第38回定期理事会議事録
・日時　R1-10-5　14：30～
・サムティフェイム新大阪　4F
・出席　辻淳子大阪市議　吉見美佐子大阪市議　赤田正和　森田政一　長瀬猛兵庫県議　錦古里正一　山本敬子宝塚市議
山下肇　和田有一朗兵庫県議　城元保椋本薫　増木直美　増木重夫
・主な議題
▽沖縄の教育、その他の沖縄事情（錦古里正一；沖縄の教育を正す会）
▽台湾人日本籍確認訴訟を支援する会設立事情と経過（錦古里）
▽韓国問題と英語教育（M）韓国がロビー活動でいつも優位に立つのは英語力の影響大なり。日本も真似る必要がある。
▽明石市の市長が進める養育費強制徴収案の真相・・行政が債務者から取りたて執行までやったり、消息までやるのはやりすぎ。シェルターの逆バージョンではないか。
▽道徳を協力にやらなあかんな（ビートたけしが表明）
▽一条の会機関誌「菊桜」に、上皇をぞんざいに扱った表現があり、尾崎氏より批判があった。皇室に関することは、いかなる場合でも、ユーモアより品位保てと教示。反省！
▽第10（通算21）会定期総会での議論事項の再確認、再議論。心の教育を推進。
▽犬猫の殺処分・・・「責任感」の重要性を教育でさらに推し進める
▽訃報報告3名（板垣正氏、湯澤貞氏、西川晃男）

英霊を被告にして委員会

【東京】●最高裁判決待ち

台湾人日本国籍確認訴訟

・第1回口頭弁論　大阪地裁
R1-12-9　14：00
・裁判終了位後、報告集会（弁護士会館）

編集後記

夜中にこんなことをして遊んでいます。
・立花語録
「私は生粋の保守」「オレは大和魂や」「左がバカすぎるから、もういいか、と思って。」「日本は核武装の議論をすべき」「保守では票が取れないから隠してた」
・そこで立花にメール
「私は生粋の保守。違うやろ、お前は生粋の極右やろ。」
・神谷宗弊氏にメール
「貴兄に座布団3枚。立花に本音（生粋の保守）を吐かせたこと。立花もボチボチ態度をはっきりしなければいけないと思っていたんじゃないかな。そのきっかけを作ってくれて感謝。」

龍馬プロジェクト、神谷宗弊氏と、Z国立花党首と日本の国防について討論！　https://www.youtube.com/watch?v=yQuRU8gkK9I

ついにごまかしきれないと観念したのか、立花元参議、本音を暴露。神谷宗弊氏、立花の裏の顔を引っ張り出す。いや、表の顔を引っ張り出したのかな。この対談動画を見て、立花は橋下氏と全く一緒。最初は保守じゃないとさんざん言われた。私もそうだが、現実主義（リアリスト）の運命かも。

活動資金ご協力のお願い

郵便振替 00980-8-245547 MASUKI情報デスク
ゆうちょ銀行 099-0245547 MASUKI情報デスク
三菱UFJ銀行 千里中央支店 0044349 普通 増木重夫

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。マスキ情報デスクは後記団体にご縁のあった人の名簿を管理し、『M情報活動報告』を毎月全国約5千（目標1万）部（議員4割）発送しています。
私どもは子供達に誇りある国を残すため必死で戦っています。ところが問題は活動資金。何卒ご協力をよろしく。
※このM情報は特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願いいたします。

○カンパ金の主な使途は、下記サポート団体の、活動の資料等の発送費・道路、公園使用料・交通費、通信費・資料、ビラ等の制作・備品購入費等
○M情報が管理・サポートしている主な団体
・NPO法人百人の会　・救う会大阪
・憲法一条の会・英霊を被告にして委員会、その他
◇　前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。

原稿・同封資料の募集、メール配信について

本紙に掲載ご希望の論文、情報等どんどん表記事務所までお送りください。また、弊紙は郵メールで発送し、重さ制限は50gです。まだ余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

『M情報』では、日々、全国各地の仲間から情報が送られてきます。それをメールで転送配信します。内容はどこよりも詳しく多種多様。試しに一度受信してみませんか。要領は巻頭のアドレスに「メール希望」と空メールを（発信名義「NPO法人百人の会」）。